

二本松
あだたらロータリークラブ
週報 第7号

第1475回 令和8年8月27日 例会場／二本松商工会議所

持続可能な
インパクトを
生み出そう2026-2027年度
国際ロータリーのテーマ会 長 橋本 哲弥 副会長 菅野 守芳 クラブ会報委員会
会長エレクト 飯田美恵子 幹 事 吉田 豪

会長あいさつ

会長 橋本 哲弥

皆さん、こんにちは。

本日も例会にご出席いただきまして、誠にありがとうございます。

まず始めに本日のお客様を紹介したいと思います。

公益社団法人二本松青年会議所 理事長 松本健二様 後ほどゲストスピーチをよろしくお願いします🌻

さて、本日の会長挨拶ですが、今日はフィギュアスケートの「りくりゅうペア」、三浦璃来選手と木原龍一選手のお話をしたいと思います。先日、お二人の結婚と言う大変おめでたいニュースがありました。

この二人といえば、今年のミラノ・コルティナオリンピックでの大逆転の金メダルが、まだ記憶に新しいところだと思います。ショートプログラムでは、二人が得意としていたリフトで、まさかのミスが出て結果は5位。

金メダル候補と言われていた二人にとっては、かなり厳しいスタートになりました。

特に木原選手は相当ショックを受け、「7年間積み上げてきたものが、ここで終わってしまった」と思うほど落ち込み、フリー当日の練習でも涙が止まらなかったそうです。ところが、その時に支えたのが三浦りく選手でした。

三浦選手は、「今度は自分が強くならなくてはいけない」と気持ちを切り替えました。普段は9歳年上の木原選手が三浦選手を引っ張り、支えることが多かったそうですが、一番大事な場面では、その立場が逆転したわけです。やはり女性は強いですね！そして迎えた翌日のフリー。

前日に失敗したリフトも見事に成功させ、ほぼ完璧な演技を披露し世界歴代最高得点の158.13点でした。

そして、ショート5位から一気に逆転し、日本のフィギュアスケート・ペアとして初めての金メダルを獲得しました。

私は、この話を聞いて、夫婦も会社もロータリーも同じようなところがあると思います。

いつも同じ人が支える側でなくてもいい。

自分が調子のいい時には相手を支える。自分が落ち込んだ時には相手に支えてもらう。

一人だったら諦めてしまうところでも、二人ならもう一度立ち上がれることがあります。

そしてもう一つ、私がいいなと思ったのは、三浦選手の言葉です。

※裏面に続く

本日のプログラム

ゲストスピーチ 松本健二様

8・9月のプログラム

第1475回例会：8月27日(木)／ゲストスピーチ
(二本松青年会議所理事長他)
第1476回例会：9月3日(木)／会員スピーチ 菅野守芳会員
第1477回例会：9月10日(木)／二本松 RC合同例会
第1478回例会：9月17日(木)／夜間移動例会
9月24日(木)／休会

幹事報告

スポGOMI大会inふくしま

開催日／令和8年9月27日(日)
場 所／福島駅東口まちなか広場
時 間／午前10時より

●国際ロータリークラブ会長

オンラインカ・ハキーム・ババロラ(ナイジェリア)

●国際ロータリー第2530地区ガバナー

金田 昇(白河西ロータリークラブ)

●県北第一分区ガバナー補佐

内藤哲太郎(二本松ロータリークラブ)

四つのテスト

言行はこれに照らしてから

- 一、真実かどうか
- 二、みんなに公平か
- 三、好意と友情を深めるか
- 四、みんなの為になるかどうか

創 立 1993.6.30
承 認 1993.9.10
認証状伝達式 1993.11.8
地 区 番 号 2530
ク ラ ブ 番 号 29750
例 会 日 毎週木曜日(12:30～13:30)例 会 場 二本松商工会議所
事 務 局 〒964-0917
福島県二本松市本町 1-60-1
二本松商工会議所
Tel0243-23-3211
Fax0243-23-6677

二人で7年間積み上げてきたものは、たった一度の失敗でなくなるものではない、という思いで木原選手を支えたそうです。これは私たちの仕事でも同じだと思います。長年積み上げてきた信用や人間関係というものは、一度の失敗ですべてが終わるものではありません。大切なのは、失敗した後にどう立て直すか。

りくりゅうペアは、ショートで5位になった時に諦めていたら、当然、金メダルはありませんでした。

しかし二人は、失敗した翌日に世界最高の演技をしました。失敗しないことよりも、失敗した後にどうするか。

そして、一人で立ち直れない時には、隣にいる人が支えてあげる。それが「ペア」ということなのかもしれません。

氷の上で7年間支え合ってきた二人が、今度は人生でもパートナーとして歩んでいくことになりました。

ロータリーも同じだと思います

今年一年、誰かが失敗した時には責めるのではなく、みんなで支えていけるクラブにしていきたいと思います。

ただし、りくりゅうペアのように会員同士でリフトまでやる必要はありません。

持ち上げる方も持ち上げられる方も危険ですので、そこだけは真似をしないようにお願いいたします。(笑)

以上、本日の会長挨拶とさせていただきます。



ゲストスピーチ

二本松青年会議所

理事長 松本 健二 様

私は高校卒業後、東京の専門学校へ進学し、31才で二本松へ戻ってきました。その後家業に就く傍ら、縁あつて32才で二本松青年会議所に入会しました。

当社は、青年会議所がどのような団体で、どのような活動をしているのかも分からず、入会后 1年ほどはあまり参加していませんでした。そんな中、私の意識を大きく変える 2つの転機がありました。

一つ目は、祖母が亡くなったことです。おばあちゃん子だった私は祖母が大切にしていた仕事や地元を目を向けることで、自分がいかに狭い視野で生きていたのかを、考えるようになりました。

二つ目は、2019のブラック大会に参加したことです。そこで、青年会議所という団体が地域においてどれほど、大きな影響力を持っているのかを知り私もその事業に携わってみたいと思うようになりました。青年会議所は、多様な背景や、価値観を持つ仲間が集う場です。一人ひとりの個性や強みを尊重し協働していくことが組織の力を最大限に発揮する鍵であると信じています。どの様な立場や考えを持つメンバーであっても、前向きに挑戦できる環境を作りたいと考えています。すべての人が活躍し、輝ける社会の創造に向けて JAYCEEとしての誇りを胸に 2026年も運動を進めて参ります。

ニコニコ BOX

クラブ管理運営委員会／九頭見武彦

橋本哲弥会長、吉田豪幹事、九頭見武彦会員、松山健司会員、渡邊覚会員、鎌田有樹会員
佐藤壮一郎会員、本多勝也会員、今野雄登会員、藤井敏則会員、松本太会員、齋藤敏夫会員
菅野秀夫会員、安部敏弘会員、遠藤優会員、阿部佳文会員、飯田美恵子会員、平塚与志一会員

*米山記念寄与者…なし

*ロータリー財団…飯田美恵子会員、九頭見武彦会員、吉田 豪会員

◇皆様の善意に感謝致します。ありがとうございました。

クラブ管理運営委員会 (出席委員会) 九頭見武彦

会 員 数	本日出席	出 席 率	メイクアップ	修 正 率
45 名	24 名	53 %	5 名	64 %

ニコニコ BOX

目標額	700,000円
小 計	22,000円
累 計	179,000円